



いぜん島物語

暮らしと共にある風景

島に出逢う

Encounter with the island

いぜん島週末インターン

「島のこしが島おこし」

～島を残し、守り、次世代へ伝えるプロジェクト～



沖縄・伊是名島
古民家再生プロジェクト

週末インターン

～島に出逢うというインターンシップ～「いぜん島週末インターン」とは

沖縄県北部の沖合に「伊是名島」はある。人口約 1500 名、島の外周約 16 キロメートル、沖縄北部今帰仁村運天港からフェリーで 1 時間。アクセスは決して良いとは言えないが、この島には、その土地に根ざし、その土地と共に、人と人との関係を大切にする暮らしが色濃く残っている。伊是名島の集落景観は沖縄の原風景がそのままそこにあるような気がするほどの美しい。集落の景観は人の暮らしの表象だ。そこに暮らす人たちがその地を大切に思い暮らしてきた「心の在り様（よう）」の結果である。しかし、近年の人口減少に伴い空き家が増え、そして、主を失った家は島との関係性を失い朽ち果てていく。少しずつ島の風景が失われつつある。

ミッションは『島の風景を守る』

いぜん島週末インターンは「島に暮らす」という疑似体験を通し、様々な地域から様々な価値観を持つ者が島に集い、古民家再生作業や農作業を中心に様々な仕事を体験しながら、ミッションの推進に協力していきます。

このインターンは、島に出会い、島を知り、汗を流し、語り合い、島の人々と出会う、その中から何ものにも代えがたき時間を通した学びの場だと考えています。今、机上を離れ、風に学び、土に学ぶことこそ、今、私たちが忘れてはならない大切な経験であると思います。

島に暮らし、島に出会う日々から 来たるべき未来を創造していく多様な視座を共に育てていきませんか？

■体験内容

インターン生の皆様には『島の風景をまもる』というミッションのもと伊是名島の古民家再生をめぐる様々な仕事を体験していただきます。しごとの内容は大工仕事だけではありません。ある時には庭の草刈、ある時には島の方々のお手伝い、そういったことも含めて私たちの考える「しごと」です。夜には作業とともに汗を流した仲間と語り合い、議論しあうのも大事なしごとと考えております。

■参加資格

○年齢、性別は問いません。どなたでも参加できます。

■受け入れ期間

○常時受け入れ可能ですが、受入ができない場合もあります、事前にお問い合わせください。

※「週末インターン」と呼称していますが、週末に限らず平日でも受入可能です。

■受け入れ日程

○伊是名島は離島であり、1日に2便しかフェリーがありません。十分な体験を得ていただくためにも最低でも2泊の滞在が必要です。

■持ち物

○泊数に見合った着替え ○洗面用具等 ○作業着（ノコギリなどの刃物を使う作業もありますので安全のため長袖長ズボンをおすすめします。）
○作業靴（安全が確保できる運動靴をご用意ください。長靴があればなお結構です。）

■こちらで準備しているもの

○インターン生の宿舎（島の再生古民家 ※原則として）
（シャワーと洗濯機は宿舎についております。またシャンプー、ボディソープ、洗濯洗剤もご用意しております。）
○寝具（敷布団、掛け布団、枕、各シーツなど一式をご用意しております。）

■参加費

○参加費・宿泊費は無料です。（宿泊場所として再生古民家を無料で提供いたします。）

■食事

○受け入れ側による食事の準備は基本的にありません。
宿舎にはキッチンがございますので、島での暮らしを体験していただくためにもインターン生は自炊での生活になります。
食費に関してはインターン生の自己負担になりますので、島のスーパーに買いに行くのもよし、島の方からのいただきものを食すのもよしです。

■補助

○運天港の駐車場料金及びフェリー往復料金の半額を補助します。

※その他、詳細は専用ホームページをご参照ください。 <http://www.izenajima-story.com>